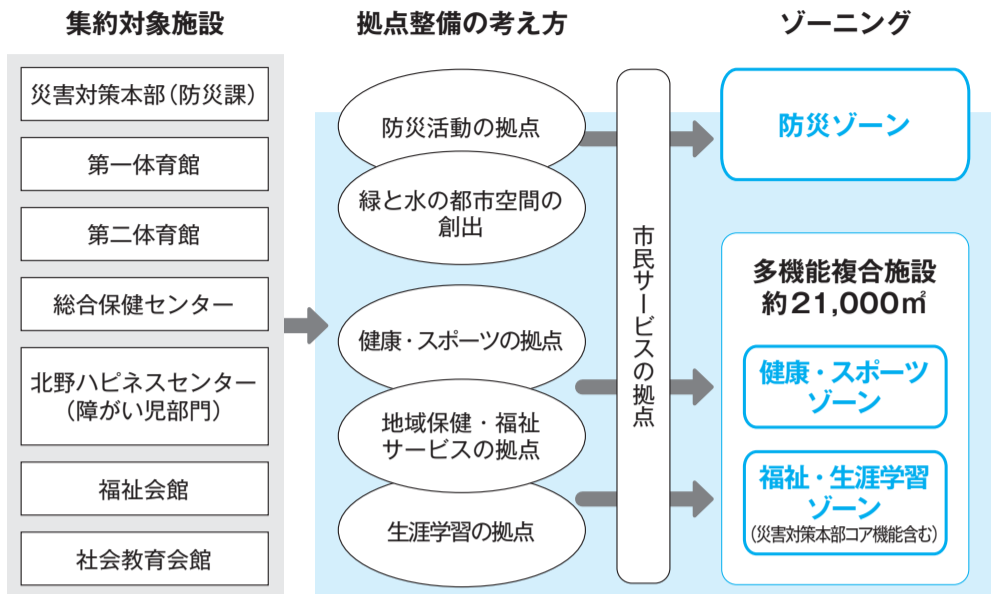


事業計画

概要

施設の老朽化や耐震性、集積の効果等を踏まえ、早急に対応を図る必要がある施設に、防災課など災害対策本部の核となる機能を加えた多機能複合施設として整備します。



拠点整備の考え方

- 防災活動の拠点
 - ・災害対策本部が活動する拠点施設として整備
 - ・発災直後の一時避難場所となる都市公園(防災公園)として整備
- 緑と水の都市空間の創出
 - ・緑豊かな公園空間として整備
 - ・農業公園、仙川へとつながる回遊ルートとしてネットワークを形成
- 市民サービスの拠点
 - ・主要な拠点施設の集約化により効率的に市民サービスを提供
 - ・交通体系の見直しにより利便性を向上
- 健康・スポーツの拠点
 - ・スポーツを中心とした総合的な健康づくりを推進
 - ・医療、保健、福祉が連携したプログラムの実施
 - ・総合スポーツセンター(仮称)計画に代わる施設として整備
- 地域保健・福祉サービスの拠点
 - ・多様な市民ニーズに応じた地域保健・福祉サービスを提供
 - ・子どもの発育・発達に関する支援の充実
- 生涯学習の拠点
 - ・時代背景や市民のニーズに応じた学習機会や学習の場の提供
 - ・施設運営等への参加を視野に入れた人財育成プログラムの提供

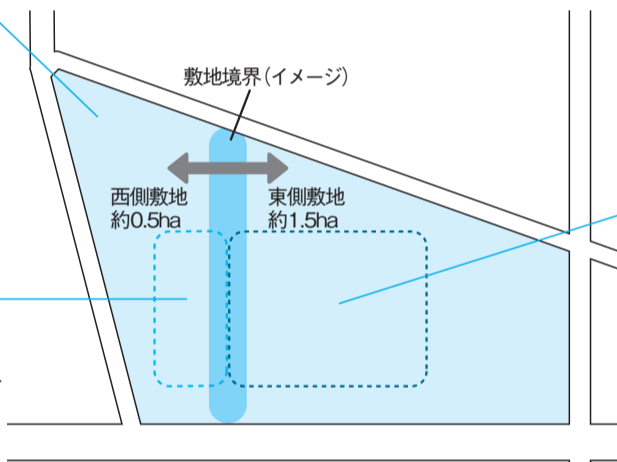
防災ゾーン(約2.0ヘクタール)

- ・敷地全体が防災ゾーンとして防災活動の中心的な役割を担います。
- ・防災公園内(東側敷地約1.5ヘクタール)は、緑豊かな公園空間とし、地下を極力有効利用します。また、災害発生直後の一時避難場所の機能を担います。

福祉・生涯学習ゾーン (災害対策本部コア機能含む)

- ・福祉会館、社会教育会館などの福祉・生涯学習機能を担う公共施設を集約します。
- ・防災課を配置し、災害発生時、災害対策本部が活動するセンター機能を担います。

■多機能複合施設平面イメージ



健康・スポーツゾーン

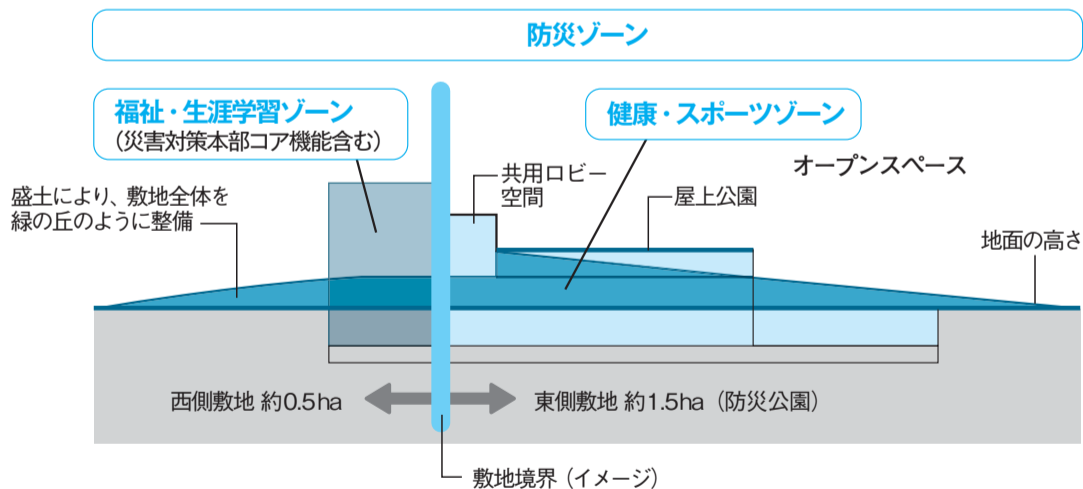
- ・アリーナ、プール、武道場など健康・スポーツの拠点施設を整備します。
- ・災害発生時は、スポーツ施設内が物資の保管場所(配送拠点)などになります。

施設規模

多機能複合施設全体で延床面積約21,000㎡と想定しています。

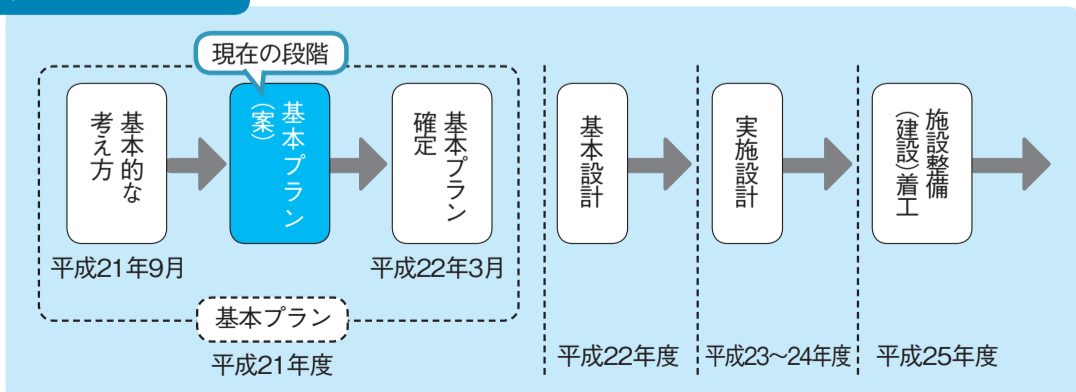
- ・敷地の有効活用のため、健康・スポーツゾーンと福祉・生涯学習ゾーン(災害対策本部コア機能含む)の中間に共用ロビー空間を設け、合築した一建物とします。
- ・地下掘削による残土は可能な限り敷地内の盛土として、施設屋上部分となだらかにつながる開放された空間整備を行います。

■多機能複合施設立面イメージ



事業スケジュール

※スケジュールは変更されることもあります。



ご意見をお寄せください

3月1日(月)までに、住所・氏名・電話番号(団体の場合は、所在地・団体名・代表者の氏名・電話番号)を記入し、「〒181-8555 三鷹市役所都市再生推進本部事務局」・FAX 48-1419 ・✉ toshisaisei@city.mitaka.tokyo.jpへ提出してください。
 ※基本プラン(案)の全文は、市のホームページ「パブリックコメント」からご覧になれるほか、相談・情報センター(市役所2階)、市政窓口、市民協働センターで配布しています。